

712立木等を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2017	12	13~14	鹿ネットを張るため、支障木の伐倒作業をしていた。支障木である杉を伐倒したが倒れず、ロープを木に巻きつけて引っ張って倒すことにした。しかし、樹高より近い場所からロープを直引きしたため、引っ張って倒した木が右肩を直撃した。	50	6	60201	10 ～ 29
2	2017	12	9~10	被災者は、同僚3名と台風によって発生した風倒木の処理作業に従事していた。斜め下方向へ倒れていた根返り木の処理に当たって、倒木の根元から3m付近を山手から切断していた。ところが、切断した途端、切断木の上方部が2本の存立木の間で捻れて倒れていたことから、切断部に反力が発生し、切断木が被災者側に強く振れ動き落下したため、脛部に直撃し被災した。	24	6	60201	10 ～ 29
3	2017	12	13~14	立木（Φ400）にΦ500程度の腐食した木が掛かった状態であった。被災者は通常の方法では伐倒が困難と判断したため、職長と手順の確認を行った。被災者は立木を伐採したあと退避場所へ退避していたが、掛木が予定した方面に行かず回転し、被災者の方向に向かってきたため、再度退避しようとしたが間に合わず、腰付近を接触した。原因は、立木と掛木が一見すると共に倒れる程度に掛かっているようであったが、実際は立木に対して想定した程には荷重がかかっておらず、掛木が予期せぬ方向に転がったためである。	34	5	30199	30 ～ 49
				木材搬出事業の現場において伐倒作業中、伐倒や移動に支障と				

4	2017	12	9~10	なる柴をチェーンソーで処理をしていたところ、切った柴が跳ねてチェーンソーに当たった。チェーンソー防護衣等の安全対策はしていたものの、当たった勢いで、防護衣が防護する範囲外の左足首内側にチェーンソーの刃が当たり負傷した。	65	8	60201	50 ～ 99
5	2017	12	11~12	委託先マンション敷地の高木剪定中（ロープおよび高枝バサミ使用）、足場をしていた高木の枝の分かれ目からバランスをくずして落下し、右肩および上腕を強打し打撲した。	70	1	60101	10 ～ 29
6	2017	12	10~11	民有林間伐事業現場において、チェーンソーを使用した間伐（列切り）作業に従事していた。積雪10cm程のなだらかな斜面でトドマツ（径約20cm、高さ約20m）を伐倒した際、伐倒した木がかかり木の状態となっていた。その後、別の列の木を伐倒していたが、かかり木が外れ、被災者の背中側に木の先端部分が当たり、肋骨多発骨折、骨盤・腰の骨折等のケガを負ったものである。	63	5	60201	10 ～ 29
7	2017	11	10~11	小学校内にて木の伐採作業中、木が倒れてくる場所に被災者が誤って立ち入ってしまい、倒れてきた木を咄嗟に受け止めようとした際、右手中指・薬指を裂傷した。	61	6	30209	10 ～ 29
8	2017	11	9~10	下水処理場にて剪定作業中、下枝を持ってジャンプして上の枝を払って着地した時、剪定ゴミで足を滑らし尻もちをついて強打し腰を痛めた。	65	2	60101	1~ 9
9	2017	11	15~16	畑において、かずらの根を引き抜いていたところ、急に根が抜けたため仰向けに転倒し腰を強打した、元々腰痛持ちであり痛みを保有していた。このためすぐには受診しなかったが、段々痛みが強くなってきた。	64	2	130201	1~ 9
10	2017	11	6~7	カート道右斜面において、立ち枯れの木を伐採作業中に切り倒した4m程の木が地面と接触した。その反動により折れた枝が20m以上離れた場所に避難していた被災者の左膝上に当たる。	60	4	140301	50 ～ 99

11	2017	11	15～ 16	個人邸樹木伐採工事に従事し、チェーンソーを使用して高さ約8mの立木を伐採中、折れていた枯枝が上部から落下し、ヘルメット着用の頭部に当たり負傷した。	36	4	30199	1～ 9
12	2017	11	10～ 11	駅構内の石垣の上（高さ1.7m）の木の枝の切り落とし作業中、石垣の上から切れ残った枝を引っ張っていたところ、枝が折れた反動でバランスを崩し高さ1.7mの通路に転落着地した際に、右足踵に痛みを感じたため直ちに救急手配を行い病院へ搬送された。	34	1	40101	10 ～ 29
13	2017	11	11～ 12	間伐事業を実施していた際、山頂付近で作業中の事故である。枝の多い立ち木をチルホールを使用し間伐を実施した際に、身体に倒れた木の枝が接触し転倒した。その際、右手を地面についた時に右手首を骨折した。	65	2	60201	1～ 9
14	2017	11	11～ 12	庭園植木剪定、伐採作業中、木に登り、木の枝を整枝中、木の枝が足の指に落ち骨折した。	66	4	60101	1～ 9
15	2017	11	10～ 11	受注品の納品のため取引先に行った時、取引先の入口の段差に躓いて、ドアに肩からぶつかり、背中を打撲した。当日は痛みを我慢して業務を終了し、翌日病院で受診した。	56	4	10401	1～ 9
16	2017	11	11～ 12	山林で、間伐事業における伐倒作業中において、カラマツの伐倒中にかかり木を発生させたので、かかり木がかかった立木の伐倒に着手し、追口切を進めていたところ、かかり木が落下し、被災者に直撃し受災した。	79	5	60201	10 ～ 29
17	2017	11	9～ 10	山林内で伐倒作業中、伐倒した木が近くの木に当たり、伐倒した木の枝が折れて、左肩に当たったと思われる。	21	4	60201	1～ 9
18	2017	10	8～9	除間伐事業現場において、古木を伐倒したが、かかり木となり、手で押し倒した時前方にあった切り株に元口が当たり、跳ね上がり当たった。	57	6	60201	10 ～ 29
			14～	急な斜面の場所で、間伐作業の伐採を行っていた。ヒノキ胸高				1～

19	2017	10	15	20m（高さ13mぐらい）を伐採中、伐採した木の根元が下に滑り落ちて木を背中よりかぶり右肘、顔、右胸を負傷した。	50	4	60209	9
20	2017	10	10～ 11	校内の剪定作業中に振り向いたとき、木の枝に右肩付近を激しく打ち付けてしまい、打撲状態になった。その時は痛みだけで2週間程度我慢していたが、その後腕が上がりなくなり、病院で診察を受けた結果、3～4週間の安静が必要と診断された。	63	3	120109	50～ 99
21	2017	10	16～ 17	2番ホール左法面にあった枯れ松を伐採し倒した後、枯れ松をカート道から撤去しようと近づいた時に支えになっていた枝が折れて右足の上に転がってきた。	29	6	140301	30～ 49
22	2017	10	9～ 10	民間の家の庭の剪定作業で、4m程の木の上で作業中落下し、ブロック塀に右横腹を強打。	35	1	60101	1～ 9
23	2017	10	9～ 10	台風災害の倒木で、水路をまたいで電線に倒れた木をチェーンソーで数ヶ所切り処理する際に、思わぬ方向へ倒れ、足を挟まれる。	45	5	30199	1～ 9
24	2017	10	15～ 16	会社借用地にて、隣接林から同土地にズリ落ちた間伐材（ヒノキ直径25cm）を1人で撤収中に、木材が斜面から予想外の方向に動き、退避するも、右足大腿部内側に当たり受傷した。	50	6	30199	10～ 29
25	2017	10	9～ 10	当事業場内で落下の危険性のある樹木を剪定していたときに、切った枝が被災者の下肢に直撃し負傷したものである。被災時の状況は安全帯及びヘルメットを装着し、固定した梯子に登り、高さ約2mのところ作業をしていた。	71	4	170209	10～ 29
26	2017	10	9～ 10	高等学校剪定工事の桜の剪定作業を行っていた際、脚立を木にかけ、登り、木の一番下の枝に手をかけたら、枝が枯れていた為根元から折れ、校門の門に転落し、背中から強打したもの。一部木に足をかけた1.5m程度の高さでの作業。	69	1	30199	1～ 9
27	2017	10	10～ 11	道路管理中、道路脇の崖にある樹木の伐採の指示をしていたとき、下に落ちた小枝と落ち葉に足をとられ、転倒し、両手を負	76	2	150101	50～

35	2017	9	13~ 14	当社置き場内にあるマキの木上部を枝打ちしようとして約2mの脚立より高さ約3mの枝に右足を掛け、体重をかけたところ、枝が折れ被災者がそのまま落下し下にあった直径約80cmの丸い石に右腰部分を打ち骨折した。安全帯は、他の枝に掛けてあったが、いっしょに折れたものである。	55	1	60101	1~ 9
36	2017	9	14~ 15	杉の木の集材伐倒中、杉の木にツルが絡んでいたため、ワイヤーで倒す準備をしていたところ、追い風のため、杉の木が予想外の方向に倒れてきた。慌てて退避しようとしたところ、斜面に着地してしまったため、右膝内側の靭帯を損傷したものである。	35	5	60201	10 ~ 29
37	2017	9	9~ 10	個人邸樹木維持管理において、シイの木の剪定作業中、安全帯を括りつけた枝が折れ一緒に約3m程の高さから落下、頭部と胸部を負傷する。	40	1	60101	1~ 9
38	2017	9	9~ 10	傾斜約30度の林地で、ナラ（胸高直径24cm、樹高12m）を斜面下方向に伐倒しようとしたところ、受け口を切ることなく、追い口切りを行ったことから、伐倒木が裂けあがって被災者の顔面と前頭部を直撃し、その反動で跳ね飛ばされ、斜面を11m転げ落ちて森林作業道に落下し、その際、左前腕部も強打して受災した。	38	6	60209	30 ~ 49
39	2017	9	6~7	現場山林で運搬丸太積込作業中にワイヤロープをかける際に小雨が降っており、又、丸太の皮が剥がれやすい状況でもあり、足場としていた丸太の上から滑り落ちたもの。	50	1	40301	10 ~ 29
40	2017	8	14~ 15	工場倉庫の屋外製品置場の緑地帯にて、立木（樫）を伐採するため、まず伸びた枝を落とし、その後に立木を根元から伐採する手順であった。しかし、枝（長さ4.4m、径50cm）を切り落とす際、手鋸で切った枝が近くのリングパレットの上に落ちた。伐採者は被災者に声かけを行ってから枝を落としたが、真下で梯子を支えていた被災者の顔に枝が直撃し負傷した。	53	4	10401	100 ~ 299

41	2017	8	9~ 10	個人邸にてシイノキ伐採作業中、トラック荷台に切った枝を下ろす途中、引網を送り込んだ際に下枝に干渉し、そこに引っ掛かっていた枝が落下し、背中左側に当たり負傷した。	43	4	60101	1~ 9
42	2017	8	11~ 12	地内において伐採工（チェーンソー）1人、50m程離れた工場 でパワーショベル運転手1人、玉切り作業員1人が作業してい た。伐採業者は直径50cm、長さ40mの杉の木を伐採、伐倒 したところ、倒した杉の木の枝（3cm）が玉切り作業者にあ たってしまった。杉の木を倒す際、笛を鳴らし、玉切り作業 者にも笛の音が聞こえていて、避けたが枝の先端が左上腕に接 触し負傷。	63	5	60201	10 ~ 29
43	2017	8	10~ 11	当該工事現場に於いて、被災者が法面より高さ8m程の位置 で、樹高19m樹径40cm程度の木をチェーンソーで切り倒したと ころ、後方の木とつるがからまっていた事により、後方の木と 同時に引き倒され、後方の木に頸部及び胸部に直撃を受け被災 した。	68	6	30108	1~ 9
44	2017	7	10~11	林道新設現場で雑木伐倒後の玉切り中に、邪魔になった枝が自 分の方にころがって来た。その時に左足下部を骨折した。	49	6	60201	1~ 9
45	2017	7	10~11	山林で玉掛け作業中、玉掛けを行い移動中に、近くの伐倒して いた木材が動き、その枝が頭部付近に当たって転倒し、首と腹 を負傷する。	72	6	60201	1~ 9
46	2017	7	16~17	高所作業車による剪定作業中、切断した枝葉が、下部の落下防 止柵に落下し、その跳ね返りで、5m離れた場所で清掃をして いた作業員の右ひじ上に接触した。	63	4	30106	1~ 9
47	2017	7	9~10	山林で間伐作業中切った木が別の木にかづらでつながってし まっていて離れなかったため、木を手で引っ張り落とそうとし たところ、思いのほか勢いよく足下まで落ちてきて、避けよう としたが間にあわず右足先にあたってしまい薬指を骨折した。	59	4	60201	1~ 9
				樹高4m程のカシの木を樹上にて枝剪定作業中、樹上に移動す				30

48	2017	7	11~12	るため安全帯のフックを一時外して上部の枝を掴んだところ、掴んだ枝が折れて樹上2m弱より腰から芝地に落下した。	38	1	60101	~ 49
49	2017	7	9~10	植木の剪定現場で脚立を使用し、剪定作業を行っていた。その際桜の枝をつかんだ時、不意に枝が折れ、バランスを崩し両足から落ちた。	37	1	60101	1~ 9
50	2017	7	11~12	民有林皆伐現場で伐倒した木の集材作業で、丸太にワイヤーを掛け、バックホーについているウィンチで引っ張る際、ワイヤを丸太に掛けて待避しウィンチ巻き始めたところ、丸太が引っ掛かり待避していた方へ回転してきて、背中（右中段）に当たり被災した。	62	6	60201	30 ~ 49
51	2017	7	16~17	施設内の玄関で、サービス利用者様の帰り支度をしていた。利用者様7人の私物手提げ鞆を玄関の下駄箱上に置きに行く際、荷物で足元が見えない状態で段差を降りようとしたため、段差手前で左足首を内側へ捻り、荷物をもったまま段差下へ右膝をつくように転んでしまった。	50	6	60201	1~ 9
52	2017	6	13~14	当日は、整備員3名より、民有材において切捨間伐を行っていた。被災者は、胸高直径9cm、樹高8mのヒノキの伐倒木の枝払いを行っていた。チェーンソーにより枝を切っていたが、先に切った枝などにより足元が見えにくい状況で次の枝を切った時、枝の真下にあった右足に被災した。	39	5	60201	100 ~ 299
53	2017	6	14~15	集材作業中に、伐倒木が倒れた後、2列目上方で掛かっていたヒノキ（胸高直径約20cm、樹高約27m）が何らかの拍子で倒れてきて、掛かり木の先端が、被災者の背中を押し潰すように直撃した。	40	6	60201	30 ~ 49
54	2017	6	13~14	山中において伐倒作業中、被災者が伐倒した際に、近接していた木が絡まり折れて落下し、被災者の右大腿部に当たった。伐倒前による確認は実施したものの、枝が絡んでいる木に気付か	60	4	30209	10 ~

62	2017	5	10～ 11	チェーンソー伐倒作業中、根返りの隣接木が倒れてきて、作業者本人の肩から背中にかけて当たる。本人は周囲を確認していたが、大丈夫だろうと安易に思い作業する。	58	5	60201	1～ 9
63	2017	5	12～ 13	小学校敷地内にて、カラスの巣を撤去するため、2連ハシゴで木に登り安全帯を固定しようとした際に、掴んでいた枝が折れて落下した。	26	1	170209	30 ～ 49
64	2017	5	9～ 10	コンクリート水路沿いで立木の伐採作業中、切断中の立木が作業員側に倒れ、立木と一緒に0.7m下の水路底に転落し、腰を圧迫骨折した。	62	1	60201	10 ～ 29
65	2017	5	14～ 15	山林で伐木作業中、杉立木を伐倒した際に頭上からカラ松の枝が落下し、作業員の頭部をヘルメットの上から直撃した。	69	4	60201	1～ 9
66	2017	4	14～ 15	処分場ヤード内に着いて、ダンプの生木を降ろす作業中、ダンプを上げたところ後ろドアが開かなかった為、降車して後ろドアのキャッチをはずしたとき、積載していた生木が横から落ちて左肩に直撃した。	61	4	30209	1～ 9
67	2017	4	13～ 14	間伐作業中、立木を切断したところ、上部の枝が隣接の立木の枝と絡まり、一瞬宙づりになった後被災者の側に落ちてきて、左足甲を骨折した。	44	4	60209	1～ 9
68	2017	4	14～ 15	加工場で本人の姿が急に見えなくなり捜したところ、1.5m位の高さの材料間にうずくまっており、返事がないため救急搬送した（意識混濁状態）。	21	4	120109	30 ～ 49
69	2017	4	11～ 12	修理する機械の仮置用角材を確保するため雑木林で木を切り出そうとしていた作業中、倒した木が地面ではねかえり、左胸に当たり負傷した。	79	6	11702	1～ 9
70	2017	4	12～ 13	樹上でカラスの巣の撤去作業をしている時に、樹上を移動する為に支障があった為、使用していた安全帯を一時外した際に手を滑らせ、樹上から転落し、腰と肋骨の骨折、肺に穴が開き、	37	1	150109	50 ～ 99

				肋骨と肺の間に空気が入る怪我を負った。				
71	2017	4	14~ 15	森林調査のため林班へ行き、小班（スギ・カラマツ人工林）で同僚2名と調査区域をペンキ塗布による表示作業中、GPS機器により区域確認をしながら、右手で灌木につかまりながら斜面（傾斜約30度）を横切っているとき、倒伏していた灌木が突然跳ね上がり、被災者の右目に当たった。	72	4	170209	30 ~ 49
72	2017	4	9~ 10	山林（杉約50年生）現場に於いて、杉皆伐後、残った雑木を伐採する作業中、伐根径20cm位の桜を伐倒する時に上部のツルを見落とした為、追い口を入れた時に元が外れてしまい、自分の方に伐倒木とチェーンソーがきてしまい、刃が左足スネに触れ切創負傷した。（チャップス装着中）	30	8	60201	30 ~ 49
73	2017	4	13~ 14	土場でワイヤーで束ねられた丸太（カラマツ）を、フォークリフトで荷台からおろし、ワイヤーを外すため丸太の上に上がり、ワイヤーを外しておりようとした時、上部にあった丸太（径約24cm、長さ約3m）が1本ズリ落ちてきた時、左足甲が挟まれて受傷した。	65	7	40301	30 ~ 49
74	2017	3	14~15	高所作業車に乗り枝下ろし作業中、下にフェンスがあるので切った枝が当たらないよう、隣の松の木の枝にロープをかけてハゼの木の枝を切ったとき、上の松の木が折れて、作業中のゴンドラに落ちてきた。	69	4	30309	1~ 9
75	2017	3	16~17	地内山林で同僚3名と共に切株間伐を行っていた際、谷側のやや急な斜面にあった杉の木を谷に平行に倒そうとチェーンソーで伐ったが、倒れなかったため、右手で木を押したところ、下部が先に飛んで、先端部分が右肩に当たり、鎖骨骨折を負った。	69	6	60201	50 ~ 99
76	2017	3	16~17	山林の中で木材を撤去する作業中に歩いていたとき、地面に落ちていた木の枝が靴を突き抜けて左足裏に刺さった。	32	9	60201	1~ 9
				高さ1.5m程度の斜面上に生えている立木（直径約17cm）を株の横に立って伐採していた。口が開いてきたので斜面下方に退				30

77	2017	3	8~9	避したが、退避した方向に木が倒れてきたため接触し転倒した。	25	6	30108	~ 49
78	2017	3	14~15	解体現場庭にて庭木を伐採中、切った樹木が自分の方へ倒れてきて右肩にぶつかり、右鎖骨・右肋骨（3本）骨折、右肩甲骨ヒビ、頸椎捻挫の怪我を負った。	36	5	30202	1~ 9
79	2017	3	9~10	訪問入浴介護サービスにて、お客様宅に向かっている途中、狭い道に進入したため入浴車のバック誘導を行っていた際、車の左前方に木の枝がひっかかる可能性があったため手で枝をよけた。車が後退を終えたため枝から手を離れた際、枝が手にあたり、右掌・甲・指全体に腫れ、甲に切り傷を負った。	53	4	130201	10 ~ 29
80	2017	3	14~15	山の斜面でチェーンソーによる伐倒作業にて、退避中、同僚が伐倒した松の枝が頭に当たり、背骨を骨折した。その際にヘルメットは着用していたが、下半身に麻痺が残るかもしれないとのことである。	53	6	60201	10 ~ 29
81	2017	2	14~15	公園緑地管理現場で高木の剪定作業中、木に登っていたところ足を滑らせた。その際に鋭利な枝の切り残しが左脚膝内側に刺さり負傷した。	60	8	140302	50 ~ 99
82	2017	2	15~16	杉山の杉の伐採作業中、立木2本（杉40年生と50年生）を伐採し、伐採した杉（40年生）を背にしてもう1本の杉（50年生）を玉切りしていた時、背面にあった杉が滑り落ちてきて、その杉（40年生）の下敷きになり負傷した。	50	7	60201	1~ 9
83	2017	2	14~15	当社ゴルフ場施設において、枯松の木を一定方向に倒れる様ロープを掛け木を倒すために、高さ約3m位の脚立を使ってロープを掛けようとしたが、脚立の高さが足りず高さ約3m50cm位の所にある枝に足をかけ、高さ約4m50cm位の所にある枝を手で掴んだところ、手足を掛けていた枝が両方同時に折れ、落ちて負傷した。	56	1	140301	—

84	2017	2	11~12	地拵作業中、チェーンソーで直径約20cmの雑木を伐ったところ、隣のスギに、かかり木になった。かかり木の処理をしようと様子を見ながら少しずつチェーンソーで雑木の幹の部分を伐り進めあと少しで伐り終わるといったところで杉に引っ掛かっていた雑木の枝が急に外れ、反動で雑木の幹が右足甲の上へ落下して右足小指を骨折した。	47	4	60201	30 ~ 49
85	2017	2	14~15	耕作放棄地再生現場で、チェーンソーにて松の立木を伐採作業中、切り倒し方向の谷側に切り口を入れ、倒そうとしている時、倒れずに樹皮が残り、伐採木が垂直に跳ね上がり、右足首に落下し、負傷した。	61	4	170209	—
86	2017	2	10~11	利用者宅の玄関から出て3m程歩いた先で、高さ50cm程の木に足を引っ掛けてバランスを崩して転倒した。その際に右手薬指を地面に突いた。それに伴い指先が曲がり、出血した。	39	2	130201	10 ~ 29
87	2017	2	15~16	作業ヤードの立木（φ28cm、L=12.0m）の伐採作業をしていたところ、倒木した木の枝葉がクッションとなり、自倒木が下方側に跳ねた。その時に下方側にいた作業員の左肩甲骨付近に当たり被災した。	64	6	30102	10 ~ 29
88	2017	2	9~10	誤って左親指に切枝が当たり骨折した。	48	6	60101	—
89	2017	2	13~14	公園内で枯損木を伐採する為に被災者（作業員）がチェーンソーを使用し、枯損木の根元を切断作業中、目視では確認出来ない空洞木であった為、切断箇所から2.2m上部まで幹が裂けてしまい、被災者（作業員）側にその幹が落下し、被災した。	68	4	30199	1~ 9
90	2017	2	16~17	森林斜面（10°位）にて、伐木（チェーンソーにて）作業時、立木上部にロープをかけて斜面上部側に引き倒す予定で、作業を急いでしまい、足の位置が伐木する立木の脇に出てしまい、倒れた後滑って足の甲の上に乗ってしまった。	64	6	30199	1~ 9
				人工林現場において、アカエゾマツ37年生及びトドマツ41年生の伐倒作業中、胸高直径22cm、樹高14mのトドマツを基本動作				

91	2017	2	11~12	とは違う伐倒方法にて地上高1.2mの位置で伐倒を試みたが倒れなかった為、根本を切り離し倒そうと「受け口」を切っている最中に、上部の切り離された元口が1.2mの高さより落下し、チェーンソーのハンドルを握ったままの被災者の左手親指付根に当たり被災したものである。	59	5	60201	10 ~ 29
92	2017	1	15~16	緩やかな傾斜地で径級22cmの立木（スギ・ヒノキ林）を伐採中、伐倒した立木が、前方にあった斜め木にあたり、滑ってきた伐採木の根元が右足太股に激突し負傷した。伐倒後の退避場所が近かったことに因る。	35	6	60201	10 ~ 29
93	2017	1	13~14	伐採工事現場にてシガラ組作業中、立ち枯れ木が背後より倒れ、右肩にあたりケガをした。	57	5	60209	—
94	2017	1	11~12	山林内において、シダが身長ほどおい茂っている境界での測量作業中に、見通しをよくするためシダを鉋で刈り払っている最中、シダの中に埋もれて隠れていた切り株に手を打ちつけてしまい、右手の小指付け根を打撲した。	69	3	60201	1~ 9
95	2017	1	11~12	職員が、利用者宅へ業務の為に訪問し、庭先を歩いているときに、縁側にいる利用者の姿に気を取られ、足元の植木につまずき転倒し、庭石に左足を強打して骨折した。	53	2	130201	500 ~ 999
96	2017	1	16~17	チェーンソーで切っていた木を収集しようと思い、のり面を降りていたら、そこに竹（親指くらいの大きさ）があり、その竹が足の裏に刺さった。	32	8	30199	1~ 9
97	2017	1	9~10	松の木の剪定作業中に、手又は足を掛けていた枝が折れバランスを崩し、松上約3.5mより芝上に落下した。その際、安全ベルトを着用していたが、作業途中に外れたものと思われる。	69	1	140301	100 ~ 299
			11~	補助間伐現場で、道下の杉の木（胸高直径Φ200、高さ15m程）を道の方向へ伐倒した。その時、5m程離れている大きな杉の木に掛かってしまったため、斜め切りをして落とした。そ				10

98	2017	1	12	の時、元々大きな杉の木に掛かっていた枯木（胸高直径Φ150、高さ10m程）が倒れて来て、背中と頭部に当たり、左背部肋骨（上から5番目）を骨折した。なお、頭部は大丈夫であった。	47	5	60209	～ 29
99	2017	1	11～ 12	配達を終え車両に戻る際、歩道から車道に出ようと植木の間を通過する時、木の根に引っ掛かり転倒した。	40	1	110101	300 ～ 499
100	2017	1	10～ 11	なだらかな斜面の苗圃において、樹木伐採作業の中、倒した樹木の枝を整理するため移動中、目的の木ではない樹木（切口30cm、長さ約13m）が突然すべり落ちてきて、かわす事ができず、巻き込まれて転倒し右足を骨折した。	62	4	60201	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。